

基本機能

basic function

WiRES-IIを使って交信する

WiRES-とは無線とインターネット回線を利用する新たな通信方法のVoIPの一つである。

日本国内のみならず世界中とハンディ機で交信が可能だ。特別な資格や申請は必要ない。V/UHF帯FMの免許があればそれでOKだ。ぜひチャレンジしてもらいたい。

WiRES-にはSRG方式とFRG方式があるが、一般的に使われているのはFRG方式だ。本書の解説もFRG方式について紹介する。

WiRES-の詳細はp.124の「WiRES-の仕組み」を参照のこと。

*VoIP: Voice over Internet Protocol
インターネットなどのTCP/IPプロトコルを使って音声を送受信する技術。一般にはインターネット電話などがこれに該当する。アマチュア無線の世界では、WiRES-システムやEchoLinkなどがVoIPに当たる。

WiRES-IIでの交信方法

WiRES-を使用して交信するには、あらかじめ自局の近くにあるWiRES-局、接続先(相手局)のWiRES-局の情報をWiRES-IDリストから入手しておく。

自局の近くにあるWiRES-局の周波数、アクセスのためのトーン周波数を合わせる。

PTTスイッチを押しながら、接続先(相手局)のアクセス・コードのDTMF信号をテンキーもしくはDTMFメモリを使って送出する。

接続が確立されると接続確認の音声(英語)が流れるので、接続できたことがわかる。

その後は、通常の交信を行う。

交信が終了したら、接続を終了させるために切断信号を送信しなくてはならない。テンキーもしくはDTMFメモリを使って#99999または#9999DのDTMF信号を送信する。これでWiRES-を使った交信が終了する。

WiRES-には、ランダムに選ばれたWiRES-局にアクセスするCQコマンドもある(接続先が海外の場合もある)。#77777または#7777DがCQコマンドだ。

WiRES-局の情報は、(株)スタンダードのウェブ・サイトから探すことができる[図1]。

<http://www.standard-comm.co.jp/wiresinfo/index.html>

アクティブに稼動しているWiRES-局を探すには、このウェブ・サイトを開き、左側にある「WiRES-IDリスト」をクリックする。すると「WiRES-IDリスト」が表示される[図2]。IDリストの上のほうにある「*オンライン・リスト公開中(10分ごとに更新)」をクリックすると現在利用できる局のIDリストが表示される[図3]。

この表の最も左の4桁の数字がWiRES-局のIDである。しかし、この表のIDは最初の“#”と最後の“D”が省略されている。1101であれば実際に送信するIDは「#1101D」である。

VX-7/6でWiRES-にアクセスする方法は二通りある。手でテンキーからDTMF信号を送出する方法と、あらかじめDTMFメモリ(WiRES IDメモリ)に登録しておいたDTMF信号を自動で送出する方法だ。

毎回決まったWiRES-局にアクセスするならDTMFメモリを活用したほうが便利。他方で、いろいろなWiRES-局にアクセスするなら手動のほうが便利だ。

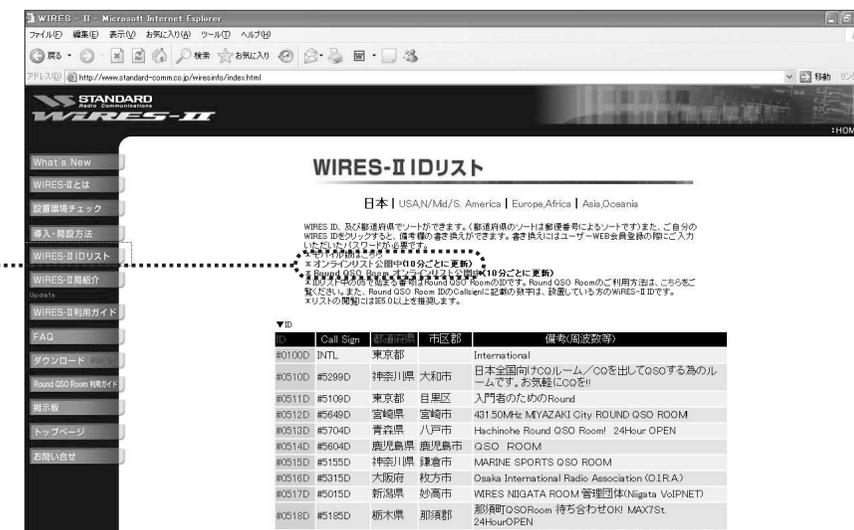
VX-2はテンキーをもたないのので、DTMFメモリを使ってWiRES-にアクセスする。

クリックする



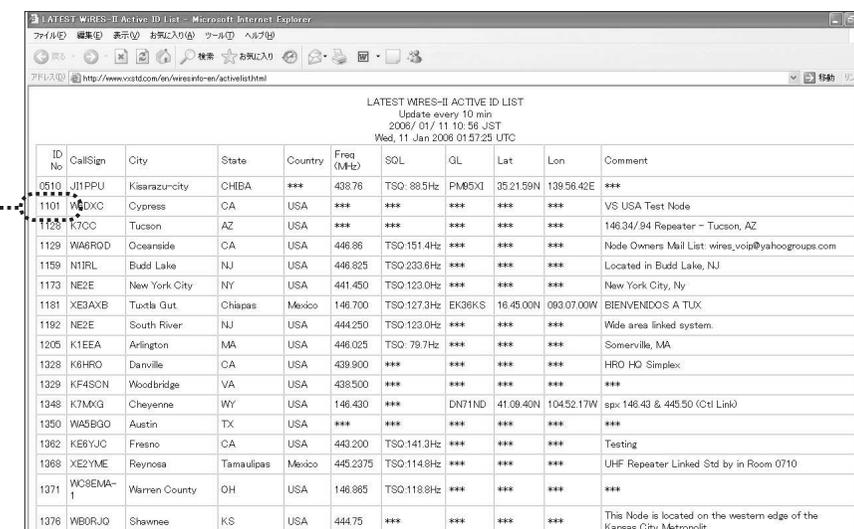
[図1] WiRES- トップページ
WiRES- のさまざまな情報が入手できる

クリックする



[図2] WiRES- IDリスト
ここにあるWiRES-局の中には稼動していないものもあるので、「オンライン・リスト公開中」をクリックするとアクティブ・IDリストが表示される

この4桁の数字がIDナンバー



[図3] アクティブIDリスト
現在稼動しているWiRES-局のアクセス・コードはここで探す。実際の運用ではIDナンバーの数字の先頭に#,最後にDをつけたアクセス・コードとして送出する